

巡視活動結果の共有等について

(1) 巡視活動結果報告について

①保存地区に関する事項

巡視箇所	回数	実施月	月毎回数
小朝日岳周辺	1	7 月	1
大朝日岳周辺	1	8 月	1
朝日連峰朝日俣沢	1	8 月	1

・ 7 月 21 日（土）ブナ峠～鳥原山～小朝日岳

ブナ峠から畑場峰までの登山道は、近年刈り払いがなされていない様子で、特に沢沿いの部分は殆ど登山道が見えない状況でした（後日、大江山岳会が刈り払い作業実施した模様）。

畑場峰の「生態系保全地区」看板は良好であったが、標柱は破損していた。

小朝日岳直下の、崩壊地についても確認した（保全作業を行う必要はないと思われる）。

（小国の自然を守る会 井上邦彦氏）



令和 3 年 7 月井上邦彦氏撮影

・ 8 月 21 日（土）中ツル尾根～大朝日岳～小朝日岳

マツノホシクロハバチは確認されなかった

（出羽三山の自然を守る会 長南厚氏）

- ・ 8月31日（火）朝日連峰朝日俣沢・黒俣沢

朝日庄内森林生態系保全センターと山形県溪流釣り協議会で合同パトロールを行った。違法な釣りの痕跡及びたき火跡は無かった。

（朝日庄内森林生態系保全センター及び山形県溪流釣り協議会）



令和3年朝日俣沢



令和3年黒俣沢

②保全利用地区に関する事項

巡視箇所	回数	実施月	月毎回数
朝日山地域	4	4月	3
朝日鉱泉付近	1	8月	1
朝日連峰黒俣沢	1	8月	1
祝瓶山登山口	1	9月	1
祝瓶山登山口	1	10月	1

- ・ 4月10日（土）小国町金目川上流
- ・ 4月21日（水）小国町明沢川上流
- ・ 4月23日（金）小国町綱川上流及び荒沢川上流

ツキノワグマ有害作業時に棲息確認（個体の視認）を行った。

（山形県山岳連盟 草刈広一氏）

- ・ 8月21日（土）朝日鉱泉側登山道
旧朝日鉱泉近くで倒木を処理。

(出羽三山の自然を守る会 長南厚氏)

- ・ 8月31日(火) 朝日連峰朝日俣沢・黒俣沢

朝日庄内森林生態系保全センターと山形県溪流釣り協議会で合同パトロールを行った。違法びたき火跡及びゴミの投棄は無かった。

(朝日庄内森林生態系保全センター及び山形県溪流釣り協議会)

- ・ 9月11日(土) 祝瓶山荘登山口
吊り橋が、通行禁止となっていた。

(小国の自然を守る会 井上邦彦氏)



令和3年9月井上邦彦氏撮影

- ・ 10月18日(月) 祝瓶山

生徒有志数名及び引率者(基督教独立学園)で登山を行った。

(小国の自然を守る会 三島亮氏)

③隣接地区等に関する事項

- ・ 9月28日(火)

生態系保護地域が設定されてから20年が経過していることから、再度、管理に関する意義等を再確認する必要がある。

(出羽三山の自然を守る会 佐久間憲生氏)

- ・ 10月18日(月)

愛染峠に設置している、生態系保護地域看板等について巡視を行った。

(朝日庄内森林生態系保全センター)

(2) 合同パトロールについて

- ①泡滝ダム～オツボ峰～以東岳(オツボ峰植生保護作業も合同で実施)

○実施日：令和3年8月7日（土）～8日（日）

○参加者：山形県山岳連盟

3名

環境省東北地方環境事務所羽黒自然保護官事務所

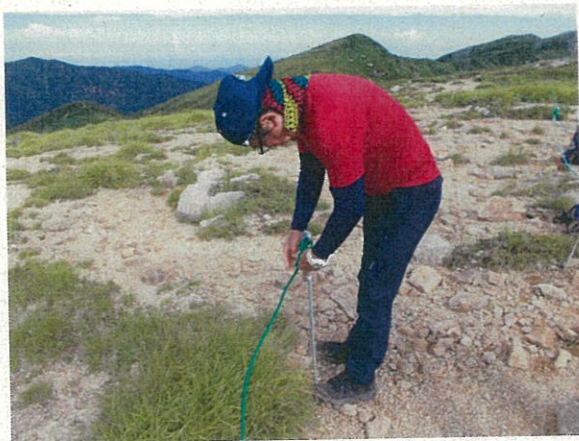
1名

庄内森林管理署

3名

朝日庄内森林生態系保全センター

2名



立ち入り規制ロープ設置作業



オツボ峰巡視



小看板設置作業



直登コース巡視

○パトロールの結果について

- ・ゴミの投棄及び高山植物の盗掘の異常も見られませんでした。
- ・看板標識の付け替え作業も行いました。
- ・オツボ峰で、立ち入り規制のロープ設置作業も同時に行いました。

報告事項

資料 2

(1) 森林生態系保護地域の標示看板について

① 森林生態系保護地域の区域標示看板（小看板）について

今年度もGPS端末を用いて設置場所の確認や取り付けロープの結び直しなど、点検補修作業を行いました。



図殿山小看板設置



畑場峰付近看板

② 森林生態系保護地域の説明看板（大看板）について

今年度も5基の組立式看板の設置と撤去等を行いました（うち1基は置賜森林管理署が設置と撤去を行いました）。

大井沢林道終点及びバカ平に設置されている据付型の大看板の状況を確認しました。

コケに覆われていますが基礎はしっかりしている状態です。



大井沢林道終点



大井沢バカ平

(2) 朝日山地保全作業（植生保護作業）

ア) 大鳥池七曲り地区のロープ規制

鶴岡市泡滝ダムから以東岳に至るルートの中なかでも、セツ滝から大鳥池へは、つづら折りに登る通称七曲りと言われています。この箇所では歩道をはずれショートカットすることを防止するため、トラロープと標識を13箇所設置し、植生の保護を図りました。



ショートカット規制箇所



ショートカット規制箇所作業中

ショートカットして斜面を歩行することで、踏圧による植生の毀損、降雨時の流水の流路化が生じることの防止・予防を図っています。

イ) オツボ峰周辺地区のロープ規制

オツボ峰から以東岳にかけての山稜部は、風衝地でハイマツや高山植物等の植生が、厳しい環境のなかで生育しています。登山者による踏圧等から植生を保護するため、ロープを張って歩道から植生地に立ち入らないよう規制しています。



風衝地の裸地化

オツボ峰付近は強い風の通り道になっており、その強い風が積雪を吹き飛ばし、土壌の凍結・融解、砂礫の移動を伴った厳しい生息環境を作ります。

登山者の踏圧が、植物の生育の阻害、表面流水による浸食を引き起こさないように、ロープを張って歩道以外の立ち入りを防ぎ、過酷な環境に生育する高山帯の植生を保全することが、この作業の目的です。



オツボ峰付近での作業



作業後のロープ

8月7日～8日に実施した合同パトロール時に作業を行い、鋼杭の付け替えやロープの張り直しを実施しました。

今後も風衝地の植生保護のため、未設置箇所の新設、破損箇所の補修を行う予定です。

(3) マツノクロホシハバチの対応について

朝日山地では、平成23年9月から大朝日岳周辺のハイマツで被害が目立ちはじめました。過去には北海道でキタゴヨウが、大規模な枯死被害が発生したこともあるため、経過を見守りつつ必要な場合は捕殺を行うこととしております。

今年度は9月21日～22日にかけて、大朝日岳周辺において朝日センター職員3名により、食害調査と駆除作業を行いました。

大朝日岳～西朝日岳方面及び大朝日岳～小朝日岳方面で行い、4箇所約90匹を確認し駆除作業を行いました。

昨年度と比べ、駆除した個数も少なくなっていますが、被害が減少したのか引き続き経過の観察が必要です。



マツノクロホシハバチの幼虫



マツノクロホシハバチ捕殺作業

前年より1週間早い調査でしたが、食葉の進行状況、群れの数等から被害の初期状態であったと思われます。今回の調査は4箇所の被害を確認しただけでした。

また、今年は紅葉の初期に該当していましたが、紅葉初期から中期にかけて食葉がピークに一致する可能性があり、被害状態の把握のため、紅葉時期との関係性にも着目していきます。

(4) オオハンゴンソウの対応について

Ⅰ 五百川林道土場跡（朝日町 山形署 29 林班ち小班内）

ア) 経過説明

- ・平成 29 年度に、山形署 29 林班ち小班内 (朝日町) の道路脇の土場跡地でオオハンゴンソウが確認されました。

- ・平成 30 年度 8 月に、山形森林管理署 4 名、当センター 4 名で根茎駆除作業を実施しました。

- ・令和元年 7 月に、環境省羽黒自然保護官事務所 1 名、東北森林管理局計画課 3 名、山形森林管理署 3 名、当センター 4 名で根茎駆除作業を実施しました。

- ・令和 2 年 5 月 26 日に、コロナウイルス感染感染拡大により防除作業を中止し、防除作業にかかる試験地（日当たり箇所・日陰箇所に無処理区、根茎駆除区、地上部処理区を各 1 プロット）の設定を行いました。

令和 2 年度より、花で識別して駆除を行っていた関係上、7 月～8 月に作業をしておりましたが、駆除の効果が低く、再生数が多くなっていると考えられることから、十分に成長していない時期と思われる 5 月に、防除作業を実施することにしました。

イ) 令和 3 年度の実施事項

ⅰ 駆除作業の実施

- ・令和 3 年 5 月 23 日に、巡視員（山形県山岳連盟、小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会）、環境省羽黒自然保護官事務所、山形県みどり自然課及び当センター職員で駆除作業を実施しました。

当日は、雨のなか約 2 時間程の作業で約 500 株のオオハンゴンソウを駆除しました。



5 月 23 日雨天時での作業



駆除したオオハンゴンソウ

8月24日（火）オオハンゴンソウの種子が飛散する前に、センター職員で駆除作業を実施しました。



8月24日駆除作業



8月24日駆除作業

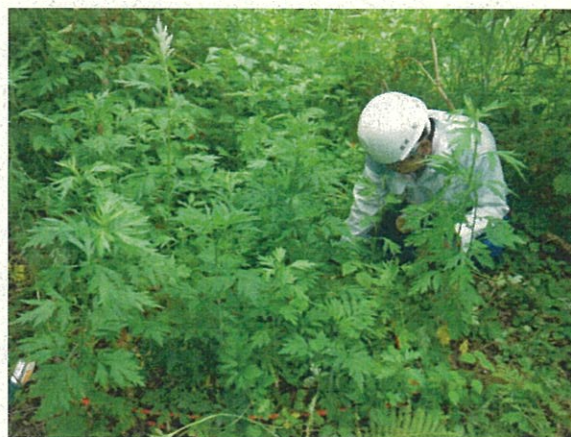
特定外来生物「オオハンゴンソウ」駆除の取組については、荘内日報紙面でも記事として掲載されました（別添1及び2）。

ii 駆除方法にかかる試験の実施

- ・令和2年5月に試験地を設定しました。
- ・試験プロットは、無処理区・根茎駆除区・地上部処理区を1セットとし、日当たり箇所と日陰箇所に各1プロット、計2プロット設定しました。



A 試験地作業状況



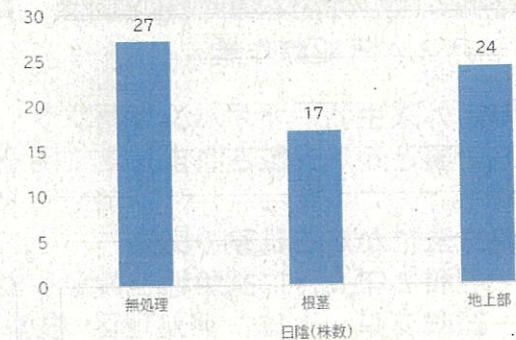
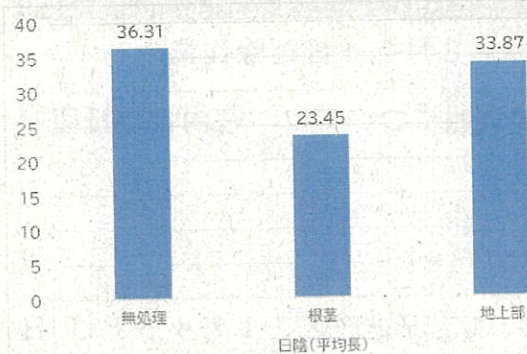
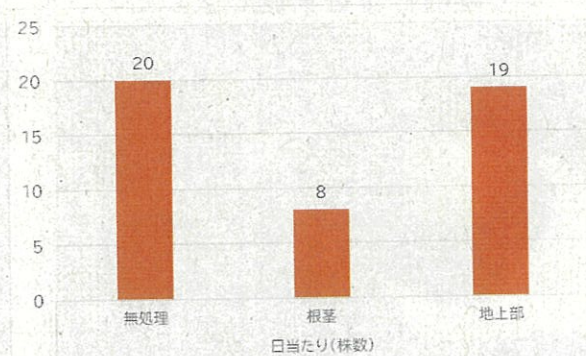
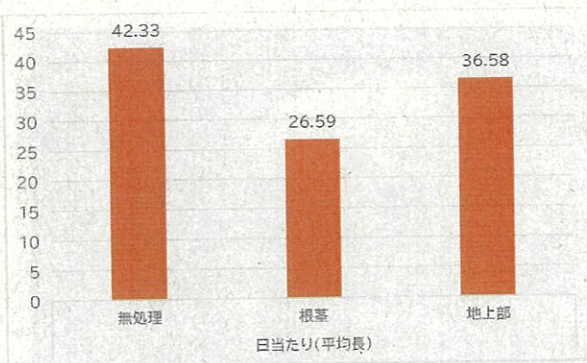
B 試験地作業状況



A 試験地駆除個体



B 試験地駆除個体



ii 調査結果

- ・日当たり、日陰区において、根茎より処理する事が翌年以降の再生数が減少する可能性がある。今後は、根茎より処理する方法で作業を続けていく必要がある。
- ・日当たりと日陰区を比較すると、日陰区だからといって成長が劣る訳ではなく、株数は日陰区の方が多いため生育環境にも左右されると考えられる。
- ・無処理区では、平均長及び株数も多く、発見次第駆除することが望ましい。

II 白滝支線(朝日町 山形森林管理署 32 林班ぬ小班内、長年不通の林道脇)

ア) 経過説明

令和 2 年 8 月 26 日当センター職員 2 名が巡視中に、山形署 32 林班ぬ小班的林道白滝支線で、これまで確認されていなかったオオハンゴンソウの生息地を確認しました。

イ) 令和 3 年度実施事項

i 駆除作業の実施

令和 3 年 7 月 14 日に当センター職員で駆除作業を実施しました(約 80 株)。今後も、定期的に巡視を行い生育状況について観察していきます。



駆除作業



駆除後

Ⅲ 令和4年度の取組

ア) 調査結果から、春期の根茎駆除作業の効果が高いと推定されるので、五百川林道土場跡においては、巡視員等を対象に募集し、駆除作業を実施します。

イ) 令和2年度に発見された、白滝支線では、カモシカが花を食べており、種子が含まれている場合は、糞により種子が拡散される可能性もあります。
新たにオオハングウソウの生息地を発見した場合は、情報をお寄せ願います。

ウ) 五百川林道土場跡及び白滝支線において、再生状況について、経過観察を続けていきます。

(5) 森林生態系保護地域内の人工林から天然生林への誘導手法について

朝日山地森林生態系保護地域の管理計画（平成15年3月設定）において、保全利用地区の人工林は、「針広混交林化を図るために必要な施業を行い、将来は天然林に導くこと」としています。

また、「保護林等における人工林の取扱いについて」（平成27年2月25日付け26東計第81号東北森林管理局長通達）で施業の留意点等が規定されており、これらに基づき、針広混交林化の取組を推進しています。

i 庄内森林管理署管内116林班い小班内における取組結果

ア 取組の概要（庄内署管内）

場所： 大鳥森林事務所管内116林班い小班内（平成2年スギ植栽）

面積： 0.08ha（2区画）

目的： 天然生林への誘導にあたり、どのような更新補助作業等が有効かを検証します。

方法： 刈払い・つる切りを行う区域、刈払い・つる切り・除伐を行う区域、施業

を行わない区域を設定し、広葉樹の成長状態、下層植生を比較します。

期間：平成28年度～令和2年度

実施項目：① 林床植生モニタリング調査（平成28年度～令和3年度）

② 更新補助作業（平成28年度～令和2年度）

③ 山取苗植栽（平成28年度～令和元年度）

④ その他（照度の測定等（令和元年度～令和2年度）

イ 林床植生モニタリング調査

令和3年10月13日山形大学農学部 菊池准教授、学生3名、朝日センター3名で調査を実施しました。

調査方法は、施業区プロット(10m×10m)6箇所、無施業区(10m×10m)2箇所で胸高直径4cm未満、樹高1.5m以上の広葉樹の成長調査を行った。胸高直径4cm未満、樹高1.5m未満の広葉樹は低木層と草本層に区分し優占度を調査しました。

設定から5年目の現段階では、設定時に生育していた稚樹が生育を続けていますが、更新補助作業の違いによる明確な成長状態の差や樹種の変化は見られておりません。



山形大学生 林床植生モニタリング調査



試験地360° カメラでの撮影



試験地ドローン撮影

ウ 今後の取組

これまでの調査結果の取りまとめを行い、更新補助作業と広葉樹の成長状態について検討を行います。

山形大学農学部と連携し、林床植生モニタリング調査を継続します。

[R3年10月末現在]

資料3 朝日山地森林生態系保護地域表示看板(小看板)の設置状況

朝日庄内森林生態系保全センター

No	市町別	設置箇所	林小 班	区域表示名		R4年度 実施予定	R3年度実施状況		直近の状況把握	補修状況	備 考	GPSデータ(デジタルカメラ付画像機器)測地系WGS-84		
				保存	保全利用		良好	不明				北緯(経度)	東経(経度)	写真
1	朝日市	八久和ダム止め付近:八久和ダム堤体を渡り設置	78の		○	点検・補修		×	R3.10.27(工事の為堤体まで行けず) R3.10.27(修繕落の為、林道通行不可)	H27.5.15更新	R3.10.27(八久和ダム堤体を渡り設置)測地系WGS-84	38°30' 39"	139°52' 31"	○
2	朝日市	八久和川入り口付近:コナリ橋を過ぎて設置	89の		○			×		H29.8.22補修	林道通行後の為、通行不可	38°28' 44"	139°50' 41"	○
3	朝日市	東大黒川チカラ沢向116林班界:東待遊歩道の立木に設置	116の		○		○		R3.10.13点検	H30.11.1		38°26' 4"	139°48' 4"	○
4	朝日市	大黒池〜東岳直登コース	114の	○		点検・補修	○		R3.8.8設置更新	H29.9.30更新	破損、更新必要	38°21' 09"	139°50' 7"	○
5	朝日市	大黒池〜オツボリ峰コース	114の	○			○		R3.8.8点検	H29.9.20補修		38°21' 47"	139°50' 11"	○
6	西川町	大井沢川水場付近	93の		○		○		R3.10.19点検	H30.8.19		38°23' 10"	139°57' 00"	○
7	西川町	大井沢川(119.6mスラブ付山付近)	93の	○			○		R3.10.19点検	H30.8.19		38°23' 41"	139°55' 51"	○
8	西川町	大井沢川(119.6mスラブ付山付近)	93の		○		○		R3.10.19点検	H30.11.5		38°22' 27"	139°56' 41"	○
9	西川町	大井沢川(119.6mスラブ付山付近)	93の	○			○		R3.10.19点検	H30.11.5	No.9, 10同一箇所に設置	38°22' 16"	139°55' 52"	○
10	西川町	大井沢川(119.6mスラブ付山付近)	93の	○			○		R3.10.19点検	H30.11.5設置更新		38°22' 16"	139°55' 52"	○
11	西川町	大井沢川(119.6mスラブ付山付近)	81の		○		○		R3.7.15点検	H30.6.1		38°19' 15"	139°56' 36"	○
12	西川町	清太岩手前(122.6m山付近)	80の	○			○		R2.10.16点検	H30.8.30	巡視員確認	38°18' 32"	139°55' 22"	○
13	大井町	小朝日岳付近(古寺山との尾根)	80の	○		補修	△		R2.9.4点検		巡視員確認	38°16' 28"	139°56' 42"	○
14	朝日町	白滝コース小朝日岳直下付近	27の	○		設置更新	×		R2.9.30確認できず	H29.9.27点検	亡失、更新必要	38°16' 14"	139°57' 13"	○
15	大井町	知床峠付近	52の		○		○		R3.7.15設置更新	R2.8.5看板修繕	更新必要	38°17' 17"	139°58' 48"	○
16	大井町	古寺鉱泉駐車場	51の		○		○		R3.7.15点検			38°18' 14"	139°58' 19"	○
17	朝日町	チカツル尾根ルート二俣付近	26の	○			○		R3.8.31点検			38°15' 5"	139°57' 41"	○
18	朝日町	御影森コース大沢峰付近	24の	○		点検・補修	△		過去4か年未確認	H28.6.6設置更新		38°14' 14"	139°55' 49"	○
19	朝日町	白滝林道分岐手前の小沢(林班界)	32の		○		○		R3.5.11点検			38°16' 18"	140°00' 34"	○
20	朝日町	頭取山から朝日鉱山方面約1.2km付近	13の		○		○		R3.9.10点検	H30.9.13設置更新		38°14' 29"	140°00' 45"	○
21	長井市	栗山山荘付近	264の		○	点検・補修	×		R3.6.16確認できず	H30.9.20		38°10' 48"	139°58' 51"	○
22	長井市	祝瓶山荘〜桑生方面吊橋付近	20の		○		○		R2.11.5点検	H29.08.01更新		38°12' 32"	139°56' 26"	○
23	長井市	祝瓶山荘〜桑生方面吊橋付近	254の	○			○		最終確認令和元年度	R1.6.21設置更新		38°11' 33"	139°54' 13"	○
24	小国町	赤鼻水場〜大玉山間	2の	○		点検・補修	△		過去4か年未確認	H28.9.9設置	設置場所・座標確認要	38°12' 47"	139°53' 59"	○
25	小国町	角楢小屋〜大玉沢出合手前	2の	○			○		R2.9.3点検	H30.7.25	巡視員確認	38°13' 39"	139°52' 40"	○
26	小国町	街道(五沢沢〜針生平)三枚沢橋付近	6の		○		○		R3.9.7点検	H30.6.26	設置場所・座標確認要	38°12' 22"	139°49' 10"	○
27	小国町	林道(石滝沢)最上流部より約500m地点	13の		○		○			H30.10.10設置更新		38°09' 23"	139°49' 46"	○
	東北 局計			11	16									

朝日山地森林生態系保護地域説明看板(大看板)の設置状況

(令和3年11月27日現在)

記載番号	設置箇所	設置箇所 林小班 等名	参考事項	現在状況		経過				令和4年度 の計画	備考
				良好	使用可能 無し	H30年度以前の状況	R元年度	R2年度	R3年度		
②	小国町	鉾生平大石橋 (吊り橋)手前 駐車場	4と 林小班	平岩山への登山口で入り込みが多い。	○	○H29年度旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○H30年度組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去する。	置賜署実施
③	白鷹町	愛染峠園地内	民地	黒崎林道と大規模林道の交差位置で入り込み増を見込む。	○	○H25年度コケがゴマ状に散らばり、文字が見にくくなり始めた。 ○H29年度旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○H30年度組立式看板を設置・撤去した。	現地確認出来ず。	枠の一部が腐朽しているが、当面は倒壊等は無い見込み。	枠の一部が腐朽しているが、使用は可能。	状況確認を行う。	黒崎林道(民有地)経由のみアクセス可能(林道距離長く園地の為、悪天候時は通行不可)メンテナンスが必要
④	朝日町	朝日鉾泉の大規模林道駐車場	14ほ 林小班	大朝日岳等の登山者、山菜採りの入り込みが多い。	○	○H29年度旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○H30年度組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去する。	
⑤	大江町	古寺鉾泉入り口駐車場	51か 林小班	大朝日岳の主要登山口で50台駐車でき入り込みが多い。	○	○H25年度コケ・虫の大量発生で文字が非常に見えにくい状況。 ○H26年度山形署の協力と補修を実施改善(防蝕剤塗布含む)。		状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認を行う。	メンテナンスが必要
⑥	西川町	日暮小屋駐車場	81口 林小班	10台程度の駐車場があり、入り込みを見込む。	○	○H29年度旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○H30年度組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去する。	日暮小屋駐車場入り口
⑦	西川町	大井沢林道終点駐車場	94い 林小班	8台の駐車ができ大井沢陣場である。 子ヶ岳を左回りで周回出来る登山口。	○	○H26年度雪により天井柱が難脱し、今後破損の危険がある。 ○H27年度案内板上部をステンレス製木ネジ、ワッシャにより固定。損傷部分の補修を実施。		状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認を行う。	大井沢林道終点 メンテナンスが必要
⑧	西川町	バカ平登山道入り口	92は 3 林小班	大井沢から寒江山への登山口で、陣ヶ岳を右回りで周回もできる。	○	○H25年度周囲からコケが侵入をはじめた。H26年度には一部文字が見えなくなすることを想定。 ○H29年度点検の結果、撤去設置する。	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認を行う。	天狗登山口焼峠コース沿い メンテナンスが必要
⑨	鶴岡市	八ヶ岳ダム淵林道分岐点	913い 林小班	鶴淵集落を入り口として、釣り人、山菜採りが訪れる場所である。 八ヶ岳林道89林班入り口より林道は橋崩落により通行不可。	○	○H25年度雪圧による傾きはあるが安定しており、下部及び周囲からコケが侵入を始めた。H26年度には文字の一部が見えなくなすることを想定。 ○H26年度コケの侵入は少なく速い状況。 ○H29年度経年設置に伴い、腐朽や積雪による傾斜が進んでいる。(秋に旧看板を撤去し、来春新看板を設置予定)	新看板を設置・撤去した。	新看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去する。	八ヶ岳林道からは、ダム堤体まで通行可能。 月山ダム方面からは、ノコギリがな公園付近から通行止めにより通行不可。
⑩	鶴岡市	泡滝ダム下部の林道脇車回し	1135 林小班	泡滝ダムより800m下流に設置し、大高池、以東岳、大朝日岳縦走者の利用が多い。	○	○H29年度に旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去する。	

撤去済みの看板

旧①	小国町	大規模林道小国線トンネル出口付近	33い 林小班	「おぐに白い郷土の森に通じる道で入り込みを見込む。」		○H25年度雪圧で天井丸太が外れ動物が挟まり死亡。H25年10月置賜署森林事務所等により表示板を外し骨組のみを残し撤去。 ○H26年度春に天井丸太が落下し危険度が減少。 ○H29年度撤去。					朝日山地への登山道がなく、入山者も少ないため撤去
----	-----	------------------	------------	----------------------------	--	--	--	--	--	--	--------------------------

朝日連峰 登山者数調査結果

環境省 羽黒自然保護官事務所 作成

①日暮沢口		6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	調査期間
H29	入山	-	-	-	-	-	-	-	不具合により計測不能
	下山	-	-	-	-	-	-	-	
H30	入山	89	123	88	125	83	14	522	6/5～10/31(149日間)
	下山	93	108	66	109	76	16	468	
R1	入山	-	-	-	-	-	-	-	設置せず
	下山	-	-	-	-	-	-	-	
R2	入山	61	53	123	126	298	11	698	5/29～11/6(162日間)
	下山	39	15	46	74	204	10	398	
R3	入山	57	46	120	249	156	-	571	6/14～10/25(134日間)
	下山	21	18	41	162	115	-	357	

②泡滝口		6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	調査期間
H29	入山	21	351	342	456	430	4	1604	6/26～11/1(140日間)
	下山	20	313	316	364	375	4	1392	
H30	入山	122	476	365	328	376	3	1670	6/16～11/2(140日間)
	下山	143	389	286	270	316	4	1408	
R1	入山	-	-	-	-	-	-	-	設置せず
	下山	-	-	-	-	-	-	-	
R2	入山	165	303	358	342	430	33	1631	6/12～11/5(146日間)
	下山	156	239	330	305	369	40	1439	
R3	入山	93	471	273	522	439	1	1799	6/18～11/1(137日間)
	下山	94	331	273	504	372	0	1574	

③古寺鉱泉口		6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	調査期間
H29	入山	15	769	791	939	693	4	3211	6/29～11/2(127日間)
	下山	23	686	733	803	715	2	2962	
H30	入山	332	835	835	778	706	44	3530	6/6～10/31(148日間)
	下山	258	777	744	811	630	39	3259	
R1	入山	-	-	-	-	-	-	-	設置せず
	下山	-	-	-	-	-	-	-	
R2	入山	61	53	123	126	298	11	698	5/29～11/6(162日間)
	下山	39	15	46	74	204	10	398	
R3	入山	-	-	-	-	-	-	-	6/14～10/25(134日間) 機械の故障のため欠測
	下山	-	-	-	-	-	-	-	

④朝日鉱泉口		6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	調査期間
H29	入山	12	249	356	395	292	3	1307	6/29～11/2(127日間)
	下山	7	311	419	390	331	2	1460	
H30	入山	140	335	306	344	300	-	1425	6/5～10/31(149日間)
	下山	140	401	428	381	324	-	1674	
R1	入山	-	-	-	-	-	-	-	設置せず
	下山	-	-	-	-	-	-	-	
R2	入山	134	133	75	220	238	41	853	5/29～11/6(162日間)
	下山	159	175	74	270	262	40	995	
R3	入山	64	178	249	341	207	-	1039	6/14～10/25(134日間)
	下山	77	249	332	365	208	-	1231	

朝日連峰 登山者カウンター設置箇所

